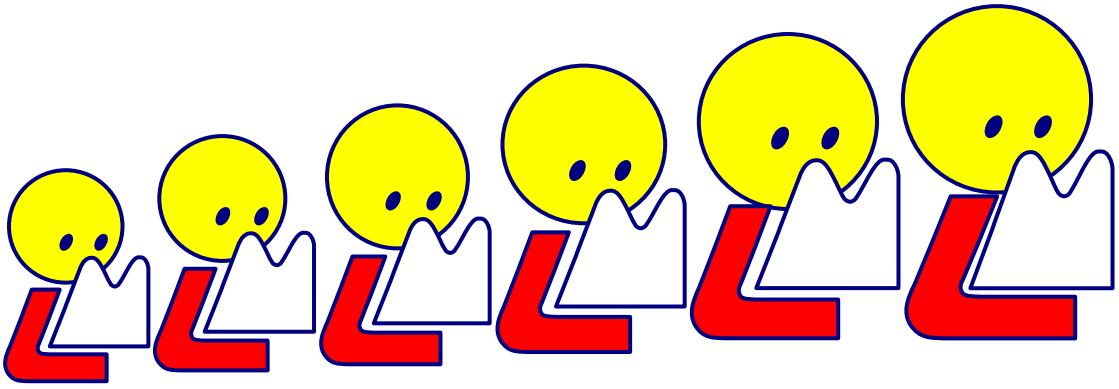
市立小学校・中学校などの先生方へ

図　書　館
活用の手引き

～子どもたちが調べ学習等で市立図書館を有効に使えるように～

改訂第６版



大阪市立図書館

はじめに

平成 14 年 3 月に、学校教育への支援が円滑に進むよう発刊した「図書館活用の手引き」は、このたび六度目の改訂をいたしました。

大阪市立図書館では、子どもの読書環境を豊かにし、子どもたちの生きる力を育成するため、団体貸出等の資料提供、調べ学習などの資料・情報活用への支援、おはなし会などの読書普及活動等、学校からのご要望にあわせて連携・協力を行ってきました。平成 14 年度と比較すると団体貸出冊数は 5 倍以上増加し、調べ学習支援、おはなし会等への協力件数も 10 倍以上と大幅な増加傾向を示しています。

平成 19 年度からは、4 ヵ年計画で、学校への団体貸出に迅速に対応し、子どもたちにより新鮮で豊富な資料を提供できるよう、一斉読書用図書や調べ学習用図書の充実・整備を図ってきました。また、平成 21 年度の試行実施を経て、平成 22 年 10 月より、学校逓送便を活用して全区の小学校への団体貸出を実施しています。さらに、知識・情報活用基盤としての機能を高度化し、さまざまな課題解決に役立つ「知識創造型図書館」をめざすとともに、学校など地域運営を担う多様なセクターを支援する地域図書館の機能強化を目指す「地域創造図書館」の構築に向け、各館で取り組みを進めています。

学校と市立図書館の連携強化（学校を核とした家庭、地域、市立図書館の連携推進）は、平成 25 年 3 月に策定した「第 2 次大阪市子ども読書活動推進計画」の重点的取り組みのひとつです。学校のＩＣＴ環境の整備に合わせて、市立図書館のさまざまな資料・情報を一層活用していただけるよう、この手引書が役立てば、と願っています。

目次

Ⅰ　大阪市立図書館ホームページ活用法 ･････････････････････････････････ 1
　１．学校支援のページをご存知ですか ･････････････････････････ 1
　２．ブックリストを使ってみませんか
　　(1)ブックリスト～子どもにすすめる本について ･････････ 4
　　(2)ブックリストの使い方 ･････････････････････････････ 6

Ⅱ　図書館からの支援について(小学校向け) ･････････････････････････････ 10
　１．図書館への来館 ･････････････････････････････････････ 11
　２．団体貸出について ･･････････････････････････････････ 11
　３．調べ学習について ･･････････････････････････････････ 12
　４．その他の学校支援メニュー ･･････････････････････････ 18

Ⅲ　中学校・高等学校で市立図書館サービスを利用してください！ ･････････ 19
　１．図書館の学校向けサービス ･･････････････････････････ 19
　２．WEB 上のサービス･･････････････････････････････････ 21
　３．読書に親しむための工夫 ･････････････････････････････ 24

Ⅳ　資料編
　資料①大阪市立図書館一覧 ･････････････････････････････････ 26
　資料②図書館利用申込書 ･･････････････････････････････････ 27
　資料③図書の貸出依頼票～調べ学習/一斉読書用 ･･････････････ 28
　資料④調べ学習をする皆さんへ ･･･････････････････････････ 29
　資料⑤団体貸出利用案内(施設用) ･････････････････････････ 30
　資料⑥団体貸出申込書(施設用) ･･･････････････････････････ 31
　資料⑦先生のための蔵書検索マニュアル ･･･････････････････ 32
　資料⑧先生のための電子書籍活用マニュアル ･･･････････････ 39
　資料⑨講師派遣依頼書 ･･･････････････････････････････････ 42
　資料⑩おはなしボランティアプログラム例 ･･･････････････････ 43
　資料⑪図書館での職場体験学習にあたって（生徒向け） ･･････････ 46

Ⅰ　大阪市立図書館のホームページ活用法

１．学校支援のページをご存知ですか

大阪市立図書館のホームページに、「学校支援のページ」を公開しています。この「図書館活用の手引き」の最新版や、大阪市内の学校と公共図書館の連携に関わる有用情報を掲載しています。(http://www.oml.city.osaka.lg.jp/?page_id=875)

図書館のホームページ（http://www.oml.city.osaka.lg.jp/）の「学校支援のページ」をクリックしてください。

大阪市内の学校支援のページ

大阪市立図書館は、子どもの読書を豊かにし、子どもたちの生きる力を育成するため、学校との一層の連携・協力を進めていきます。

○ 学校支援のご案内

図書館 活用の手引き.pdf
こどもたちが調べ学習等で市立図書館を有効に使っていただくためのご案内です。(2014年5月 改訂第6版作成)

蔵書検索
インターネットで公開しているページへジャンプします。大阪市立図書館全館の蔵書検索はもちろん、他機関の複数のサイトに対して同時に検索することができる横断検索、インターネット上の有用な情報や大阪市立図書館が契約している電子書籍、商用データベース(館内のみ)、古文書の画像なども検索対象として、複数のサイトに対して同時に検索することができるOMLINサーチも利用できます。

商用データベースのご案内
新聞記事や環境・食文化の情報などの商用データベースが、各館の「多機能 OMLIS」で利用できます。
提供している商用データベースのうち、「JapanKnowledge(ジャパンナレッジ)」のみ、上記 OMLIN サーチ画面より、「辞典・事典」にチェックをいれていただくと、校務支援システムのパソコンからもご利用いただけます。(平成26年7月から)

電子書籍提供サービスのご案内
大阪市立図書館の電子書籍サービスでは、図書館の開館時間にかかわらず、学校やご自宅のパソコンからでもご利用いただけます。また、タイトルや著者・目次の検索に加えて、提供している電子書籍の本文すべてを任意のキーワードで検索し、検索結果から本文を参照していただくことができます。

大阪市立図書館の一覧
電話番号・所在地一覧・地図・各図書館のページへのリンクです。

○ 『大阪市子どもの読書活動推進連絡会』のご案内

「『大阪市子どもの読書活動推進連絡会』実施報告書」(平成19年度～)
[各年度の実施報告書全文]

○ お役立ち資料リストのご案内

こどものほんだな

図書館の「子どもの本棚」委員会が選定し、紹介している図書リストです。毎年冊子も発行しています。

小学生に読みきかせ

小学生のグループなどに、初めて絵本の読み聞かせを行ってみようという大人の方のためのリストです。

- 小学生に読みきかせ(低学年向きの絵本)
- 小学生に読みきかせ(中学年向きの絵本)
- 小学生に読みきかせ(高学年向きの絵本)
- 小学生に読みきかせ(ちしきの本)
- 小学生に読みきかせ(詩とことば遊びの本)

⇒小学生に読みきかせ統合版（印刷用）.pdf

ブックリスト～子どもにすすめる本

図書館司書がセレクトしたテーマ別のおすすめ本リストです。

調べ学習用図書リスト

これまで利用の多かったテーマ５つにしぼり、リストにしました。

- 戦争と平和の絵本と物語
- バリアフリーの社会をめざして
- 環境を考える本
- 世界の人のくらし
- 日本の伝統文化・くらし

○ その他、お役立ちリンクのご案内

- **『学力向上のための読書活動：「学校図書館活用ハンドブック」』**（平成 21 年度文 部科学省委託事業「学力調査を活用した専門的な課題分析に関する調査研究」／全国学校図書館協議会作成）
  このファイルを掲載している 社団法人全国学校図書館協議会 のサイトもあわせてごらんください。
- **国立国会図書館国際子ども図書館　児童サービス・学校関係者の方へ（子どもと本をつなぐ人のページ）**
  公共図書館、学校図書館、文庫等で子どもへのサービスを担当している方々の、子どもの読書活動推進に係る取組みに役立てていただける情報を集めています。

２．ブックリストを使ってみませんか

(1) ブックリスト～子どもにすすめる本について

大阪市立図書館のホームページに、司書が選んだブックリスト「子どもにすすめる本」を公開しています。(http://www.oml.city.osaka.lg.jp/?page_id=501#_3712)

子どもが初めて出会う本として　図書館がおすすめする絵本のリストや、職員で構成する子どもの本棚委員会が選んだおすすめ本の「こどものほんだな」などのリスト等、小学生への読み聞かせ等の本選びに参考となるものです。

このほかに、小学校から大阪市立図書館に寄せられる調べ学習等のための資料要求の蓄積から、要望の高いテーマを５つ選び（「戦争と平和の絵本と物語」「バリアフリーの社会をめざして」「環境を考える本」「世界の人のくらし」「日本の伝統文化・くらし」)、市立図書館全館の蔵書のなかから、テーマごとに子ども向きの本をリストアップしたものも掲載しています。

これらのリストのページは、大阪市立図書館の蔵書検索システムと連係しており、出版者や価格、ページ数といったデータだけでなく、内容紹介や著者紹介、紹介文などの関連情報を見ることができます。また、どこの図書館がもっているか、貸出に出ているかどうかといった所蔵･所在情報がリアルタイムで確認できます。今後、出版される新刊についても､市立図書館で受け入れた児童書のなかで５つのテーマに沿ったものは、随時ブックリストに収録する予定です。

主なリストについては以下に紹介していますのでご参照ください。最新データは上記ＵＲＬからご覧いただけます。リストが必要な場合はお近くの大阪市立図書館にご相談ください。

◎主なリストの構成

図書館がおすすめする子どもの本

■こどものほんだな

「絵本・絵童話」､「物語」､「よみつがれてきた物語」､「歴史・伝記物語」､「詩・随筆・記録」､「知識の本」の６ジャンルに分け、それぞれの中を、対象年齢別に「赤ちゃんから」「幼児から」「小学校低学年から」「小学校中学年から」「小学校高学年から」「中学生から」の６つにわけたリストとしています。

■小学生に読み聞かせ

小学生のグループなどに､初めて絵本の読み聞かせを行ってみようという大人の方のためのリストです。低学年向き・中学年向き・高学年向きの絵本、ちしきの本、詩とことば遊びの本に分けています。

調べ学習に役立つ本

■戦争と平和の絵本と物語

第２次世界大戦をはじめ、歴史の中で世界各地でおこっている紛争や戦争を題材にした絵本と物語をあつめました。「大人のためのブックリスト」以外は大阪市立図書館に 10 冊以上所蔵しています。

■バリアフリーの社会をめざして

障がい者と共に暮す社会をめざし、働く犬についての本、障がいを理解するための本などを集めています。新しく出版されたものからリストアップしています。

■環境を考える本

もっともよく質問されるテーマに絞ったブックリストです。2003 年以降発行で、大阪市立図書館全体で 3 冊以上所蔵がある図書を優先しました。絵本や物語も、役に立ちそうなものは含めています。

■世界の人のくらし

世界の国々や地域（日本は含みません）の暮らしについての本を、地域ごとにリストアップしています。世界全般のことがのっている本は最初にまとめ、「くらし・あいさつ」と「遊び・祭り」の項目に分けています。

■日本の伝統文化・くらし

５つのテーマに分けてリストを作りました。テーマによっては少し古い本や大人向けの本も加えています。平成 24 年までのリスト「昭和の日本のくらし」と「日本の伝統行事・伝統文化」を統合・改訂しました。

次頁以降、リストの閲覧から書誌詳細表示までの流れを、画面を追ってご説明します。

(2)　ブックリストの使い方

① 図書館のホームページ（http://www.oml.city.osaka.lg.jp/）の、
「子どもにすすめる本」をクリックしてください。

② テーマごとに簡単に解説したページが表示されます。みたいテーマをクリックしてください。ここでは例として、「バリアフリーの社会をめざして」を選びます。

③ テーマの中をさらに細分した一覧が表示されます。見たいリストをクリックしてください。

④ タイトル、著者、出版者などのリストが表示されます。蔵書検索のページを介しますので少し時間がかかります。ここからさらに詳しい情報を見ることができます。

タイトルの部分をクリックすると、本の詳しい情報と、どこの図書館が持っているか（貸出中かどうか）を表示する画面を開くことができます。目次、あらすじ、紹介文なども見ることができます。

⑤ どこの図書館がもっているかが表示されます。予約件数も表示されます。所蔵件数を大きく上回る件数の予約がある場合は、借りていただけるまでに時間がかかります。予約される際の目安にしてください。

⑥ 目次、あらすじや紹介文、本のデータも表示されます。
「紹介文　こどもの本だな」と表示のある文章は、大阪市立図書館の司書で構成する、子どもの本棚委員会が執筆したものです。内容紹介、著者紹介などの情報は市販のデータです。

目次・あらすじ

内容紹介

すぐれた嗅覚をいかして生存者をさがしだすために、日々訓練を重ねる災害救助犬。東日本大震災発生時、いちはやく被災地にかけつけ、懸命の捜索活動を行ったレイラを通じて、人と犬との絆を見つめなおす。
災害がおこったときに、ひとりでも多くの人を助けられるよう、毎日訓練を重ねる災害救助犬の世界とは?東日本大震災(だいしんさい)の被災地(ひさいち)にかけつけ、全力で捜索(そうさく)活動を行った災害救助犬レイラと、犬を誘導(ゆうどう)する指導手の村田さんの姿を紹介(しょうかい)します。

著者紹介

埼玉県出身。日本児童文芸家協会会員。「海をわたった盲導犬ロディ」で日本動物児童文学賞優秀賞、「カンボジアに心の井戸を」で日本児童文芸家協会賞、「往診は馬に乗って」で福田清人賞受賞。

書評情報

産経新聞毎日新聞　2012/07/01
　2013/03/04

要旨

2011年3月11日、東日本大震災が発生すると、災害救助犬レイラは、いちはやく被災地にかけつけました。災害救助犬の役割は、すぐれた嗅覚をいかして生存者をさがしだすこと。岩手県大船渡市から宮城県気仙沼市まで、一週間におよぶ捜査活動がはじまりました。小学上級から。

内容

第1章 東日本大震災発生(豊かな自然にかこまれて;二〇一一年三月十一日;災害救助犬レイラ、出動;いざ、被災地へ);第2章 赤い旗(死んでしまった町並み;無言の発見;静かな空;遺体のある場所に立つ赤い旗;嗅覚への不安;ねぎらい;消防団員の背中;うちの孫をさがして!);第3章 発見!生きている(レイラ、はげまされる;七十二時間の壁;生きている人を発見;必死の捜索を続ける;一週間をおえて);第4章 レイラと出会う(災害救助犬とは;犬と信頼しあえる仕事につきたい;災害救助犬との出会い;阪神・淡路大震災で痛感したこと;レイラと出会う;レイラ、災害救助犬になる;指導手の責任;迷子捜索の名犬);第5章 明日を信じて(復興のきざしの野馬追;震災をふりかえる;レタルとともに)

紹介文

こどもの本だな　(知識の本　　)
災害救助犬レイラと訓練士の村田さんは、東日本大震災の翌日から救助活動に参加した。がれきの山から人の臭いをかぎあて、懸命に行方不明者を捜し出す。被災地での捜索活動のほか、レイラたちの普段の訓練や生活なども詳しく紹介する。災害救助犬が増え、一人でも多くの命が救われることを願う村田さんの思いが胸をうつ。

出典

内容紹介、児童用内容紹介、目次、著者紹介、受賞情報、書評情報
　「TRC-MARC」（TRC）　より
要旨、内容、内容の書名
　「BOOK」((株)トーハン、日本出版販売(株)、日外アソシエーツ、(株)紀伊国屋書店) より
紹介文　あなたにこの本を、こどものほんだな
　大阪市立図書館職員が執筆
解題情報
　大阪市立図書館職員が執筆
目次情報
　大阪市立図書館で入力

Ⅱ　図書館からの支援について（小学校）

見学や職場体験、調べ学習を市立図書館で実施しようとお考えになった場合には、まず、学校のある区の市立図書館にご連絡ください。

（例）　○小学校３年生・社会科の「大阪市のようす」での図書館見学
○小学校２年生・生活科の「まちたんけん」での図書館訪問
○図書館での職場体験
○総合的な学習の時間などでの調べ学習

●ご連絡のタイミング

・計画された時点でご連絡ください。年度当初の年間計画の段階など、早いうちからのご相談・ご連絡は差し支えありません。
・資料や場所の確保、職員の手配などの関係で、遅くとも１カ月前の実施決定が必要です。本決まりになった時点で「図書館利用申込書」にご記入いただき、ＦＡＸでお送りください。
⇒書式「図書館利用申込書」（27 ページ 資料②）
⇒市立図書館一覧（26 ページ 資料①　ＦＡＸ番号を掲載しています）

●対応可能な日

・原則として平日（休館日・祝日を除く）10:00～17:00
上記以外で特にご希望がある場合はご相談ください。
・希望の日程が他の学校と重なった場合は、申込順とさせていただきます。

（参考）休館日	地域図書館：	月曜日（7/21～8/31は開館）
		第３木曜日（祝日は開館）
		年末年始、蔵書点検期間
	中央図書館：	第１・３木曜日（祝日は開館）
		年末年始、蔵書点検期間

●おねがい

・ご希望の時期は重なりがちです。ぜひ、早めにご相談ください。
・開館時間中は一般の利用者もおられることにご留意ください。
「調べ学習をされる皆さんへ」（29 ページ 資料④）もご活用ください。
・館内では飲食禁止としていますが、水分補給のため水筒を持たせたいなどのご希望はお伝えください。

●図書の貸出を希望される場合

・見学や調べ学習のあと、図書の貸出を希望される場合は、手続きが必要です。
個人貸出　児童ひとりひとりにカードを発行することができます。「図書館カード申込書」を事前にお届けいただければ、当日カードを用意します。すでにカードをもっている児童の扱いなど、詳しくはお尋ねください。
団体貸出　学校や学級単位で団体貸出を行っています。人数×８冊まで、５週間借りられます。詳しくは、後掲の「２　団体貸出について」をご覧ください。

１　図書館への来館

(1) 図書館見学・まちたんけんなどでの来館

赤ちゃんからお年寄りまで、幅広い年代の方々に利用される公共図書館は、子どもたちにとって最も身近な公共施設のひとつです。まずは図書館に親しみを感じてもらえる場となるように、と心がけています。

図書館の利用方法や、本の並び方、本を読むことの楽しさなどについて、スライドや紙芝居を使って解説したり、館内案内を行ったりします。絵本の読み聞かせなどを組み合わせることもできます。館内のコンピュータを使って蔵書検索を体験してみるなど、市立図書館のネットワークシステムについても学んでもらえます。
具体的な内容は、時間と人数に合わせて相談させていただきます。

(2) 職場体験学習での来館

これまで職場体験学習は中学生を中心に受け入れています。小学校で職場体験学習を実施される場合は、中学校での対応例を参考に、プログラムを作成します。

１日あたりの受入可能人数は４名程度（図書館の規模により異なる）です。

⇒ 書式「図書館利用申込書」(27 ページ 資料②)
⇒（参考）「職場体験学習」(19 ページ)
「図書館での職場体験学習にあたって（生徒向け）」(46 ページ 資料⑪)

(3) 調べ学習での来館

実際に図書館に出向いて、必要な本を書架から選んだり、館内のオムリス(利用者用検索端末)で本を探したりできます。詳しくは、後掲の「調べ学習について」をご覧ください。

２　団体貸出について

学校図書館と公共図書館が連携して機能分担することで、子どもたちの読書や調べ学習をより豊かなものにすることができます。子どもたちにとってもっとも身近な読書環境である学校図書館の資料の充実に引き続きご留意いただくとともに、学校図書館だけでカバーできない部分については、ぜひ公共図書館をご活用ください。
学校や学級単位で、団体貸出用の図書館カードを作ることができます。人数×8 冊、５週間

借り出すことができます。手続きについては各図書館にご相談ください。（貸出の申込書は、31 ページ 資料⑥）

団体貸出の際、地域図書館と中央図書館では蔵書冊数に大きな差があるため、申し込みについて、以下のようにさせていただいています。

■地域図書館　地域図書館は資料が少なく、他の図書館からも集めて提供しています。事前に申込をしていただかないと、ご希望に添えないことが多いと思われます。調べ学習のための図書の貸出や朝の読書タイムなどのために大量に本の団体貸出を希望される場合は「「図書の貸出依頼票～調べ学習用/一斉読書用」（28 ページ 資料③）を、事前（1 カ月前まで）にお送りください。なお、市立小学校については、当該区の図書館より 1.5km 以上離れている学校を優先に、学校逓送便を活用した搬送手段で資料をお送りすることもできますので、お申込時にその旨お申し出ください。ただし、便の関係で、到着日時指定等はできませんので、あらかじめご承知おきいただきますようお願いします。

■中央図書館　直接ご来館いただき、団体貸出利用案内（30 ページ 資料⑤）に従ってご利用ください。できる限り、事前に大阪市立図書館ホームページ上での蔵書検索を行っていただき、調べる対象を想定してから来館していただきたいと思います。西区の市立小学校で、学校逓送便の活用を希望される場合は、その旨お申し出ください。ただし、到着日時の指定はできません。

大阪市立図書館ホームページアドレス　http://www.oml.city.osaka.lg.jp/

３　調べ学習について

(1) 調べ学習のテーマ設定について

調べ学習のテーマを決定する際には、先生ご自身がどんな資料が図書館にあるかを調べてみてください。また、当該区の図書館にもご相談ください。総合的な学習時間のテーマとして取り上げられることが多い内容であっても、所蔵する資料が少なかったり、検索が難しいテーマもあります。子どもが自分で図書館で調べることにより、ある程度の成果が得られるテーマが設定できれば、子どもが主体的にテーマに取り組むことができる、と思います。

(2) 指導案について

図書館での調べ学習が、目的や全体の学習の流れのなかでどこに位置するのかを把握し、適切な支援を行うため、事前にその単元の指導案を図書館にもお示しください。

(3) 宿題としての調べ学習について

図書館で調べるよう指示された子どもがグループでやってきて、同じテーマの資料についてカウンターで尋ねることが増えています。

特に地域図書館では、全体の蔵書冊数が限られており、同じテーマの資料に利用が集中すると、希望通り対応することができません。また、所蔵している本も、貸出中なら書架で手にすることができません。結果として、せっかく図書館へ来ても思うように調べものができなかったと、がっかりして図書館を後にするということにつながってしまいます。
相談担当の司書に尋ねてもらえれば、さがしにくい関連図書から必要な情報を見つけて紹介することも可能ですが、それでも、全員にいきわたるだけの資料があるとはいえません。

また、思考力や創造力の育成に対しては、資料調査段階での子ども自身の試行錯誤が有意義ですが、実際は、図書館に来る子ども（又は保護者）が、「〇〇という宿題が出たのですが本はどこにありますか？」とカウンターにやってくるので、紹介された本から答えを書き写すだけにとどまることがほとんどです。個別の対応の中では、調べかたを示しながら、あるいは調べる面白さを伝えながら、ということがなかなかできません。

学校と公共図書館との連携を実りあるものとするためにも、調べ学習の宿題を出されるときの前段として、以下の方法なども検討していただきますようお願いします。

□授業時間中に、学校のパソコンを使って、必要な資料の探し方、調べ方について学習する。

□図書館見学で、オムリスや辞典類などを使って、必要な資料の探し方、調べ方について学習をする。

□先生が事前に図書館で調べ、子どもに資料調査のための手順、検索語や掲載資料、配架場所などについて適切なヒントを与えておく。

なお、子どもに図書館で調べるよう指示される場合は、あらかじめどのような資料が図書館にあるのか把握していただくなどのご準備をお願いするとともに、可能なら事前に当該区の図書館にご相談ください。

(4) 調べ学習支援モデル

大阪市立図書館では、図書館利用スキルや情報探索能力の向上に向けて、低学年から段階に応じた学び方のモデルを考えてみました。次ページ以降をご覧ください。

★中央図書館での調べ学習

（プログラム１）　小学校３年生　図書館見学

対　　象	小学校３年生（１学級～１学年）20名～120名
テ ー マ	公共図書館の利用方法や機能を知ろう
ね ら い	① 公共図書館の機能について、特色のあるコーナー（障がい者サービスコーナーなど）や書庫を見学し、書庫での職員の働きなど、理解を深める。 ② 図書館情報ネットワークシステムで本を調べたり、本の並び方について説明を受け、図書館の利用方法を理解する。

	所要時間	内容
クラスごとに移動	5分	・集合（１階エントランスホール） ・見学の注意事項説明
	20分	◎１階こどもの本のコーナーを紹介 ・利用方法について ・本の並び方のきまり、分類について説明 ・タッチパネルのオムリス（利用者用検索端末）での検索方法を説明 ・資料の紹介（さわる絵本や布の絵本など） ・読み聞かせを聞く
	20分	◎地下１階　障がい者サービスコーナーを紹介 ・障がい者サービスについて説明 ・資料の紹介（点字図書、録音図書など）
	20分	◎地下３階、４階の書庫を紹介 ・貴重書庫を見学 ・電動集密書庫を紹介 ・図書搬送システムを説明し、書庫の資料が利用者にわたるまでを知る。

（プログラム２）　小学校４年生　調べ学習

対　　象	小学校４年生（１学級）20名～40名
テ ー マ	タッチパネルのオムリスを使って調べる
ね ら い	①キーボード操作の必要のないタッチパネルのオムリスを使って、基礎的な検索方法について知る。 ②百科事典や辞書などの基本的な使い方を知る。

	所要時間	内容
グループで行動	5分	・集合（１階エントランスホール） ・調べ学習の注意事項説明
	20分	◎タッチパネルのオムリスの使い方の説明 ・「資料(本・ビデオ・雑誌・CDなど)をさがす」を選ぶ ・「かんたん検索」の検索窓にタイトルや著者名、フリーワードを入力して「さがす」ボタンをおす。 ・条件絞込み画面が表示されるので、絞り込みたい条件のボタンをおして、「さがす」ボタンをおす。 ・検索結果一覧の中から見たい本の行をおす。 ・資料詳細画面の下部「所蔵」欄の「詳細」ボタンをおす。 ・所蔵詳細画面の「地図を表示する」ボタンをおすと自分が調べるテーマの本がどのあたりの書架にあるのかがわかる。 ・その場所に行って、オムリスで調べた本以外の本も調べる。
	30分～	・１冊の本の使い方（目次や索引など）を説明。 ◎百科事典などの使い方の説明 ・こどもの本コーナーにある百科事典や辞典類について、まず索引を調べるなど、その使い方を説明する。

（プログラム３）　小学校５．６年生　調べ学習

対　　象	小学校５．６年生（１学級）20名～40名
テ ー マ	多機能オムリスを使って調べる
ね ら い	①キーボード操作の必要な多機能オムリスの使い方を知る。 （大阪市立図書館ホームページ上での蔵書検索とほぼ同じであるため、学校のパソコン教室からの検索も可能である。） ②子ども向けの本だけではなく、大人向けの資料も使っての調べ学習を体験する。

	所要時間	内容
グループで行動	5分 20分 30分～	・集合（１階エントランスホール） ・調べ学習の注意事項説明 ◎多機能オムリスの使い方を説明 ・検索結果が多すぎた場合に絞り込みができるように、複合検索ができることを知る（資料⑦の35ページを参照）。 ・タイトルで検索してみて、その本がどのあたりの書架に行けばあるのかを探す。 ・大人向けの資料を探す時間があれば、２階の一般書コーナーや３階の大阪コーナー、調査相談コーナーの該当の書架まで子どもたちを誘導する。 ◎蔵書を検索し、自分たちで調べる。 ◎必要な本については、団体貸出、個人貸出の手続きを行う。

高学年では、ある程度検索ができるため、どんどん大人向けの資料を探し当てますが、内容や表現が難しすぎるものが多くあります。一方で、子ども向けの本だけだと物足りないと思われます。図書館としては“公共図書館でたくさんの資料のなかから、求める資料を探す方法を知る”ことが、調べ学習の一定の到達点と考えており、指導者の目的、授業の進め方とずれがないか等、事前に打ち合わせが必要であると考えています。

また、多機能オムリスの蔵書検索画面は、大阪市立図書館ホームページで提供している蔵書検索の画面とほぼ同じですので、蔵書検索については「先生のための蔵書検索マニュアル」(32～38 ページ 資料⑦)を参照してください。同じくホームページで提供している電子書籍サービスでは、辞書などの全文を検索し閲覧することができます。「先生のための電子書籍活用マニュアル」(39～41 ページ 資料⑧）をご参照ください。

なお、館内の多機能オムリスでは、商用データベースを使って新聞記事を探したり、百科事典の横断検索などもできます。最新の情報が常に更新され、検索機能や操作性の高い、非常に有用な情報源です。

★地域図書館での調べ学習

３年生　**図書館見学**　→公共図書館の機能を知ろう

・図書館の案内（説明）・使い方・分類など、紙芝居やスライド等によってオリエンテーションし、館内見学する。また、全館の蔵書検索をすることにより、市立図書館のネットワークシステムを体験する。
（図書館から出向いて利用ガイダンス、検索方法等について授業等を行うことも可能です。）

３・４年生　**タッチパネルのオムリス（利用者用端末）で調べる**
→公共図書館での初歩的な検索を体験する

・館内にあるタッチパネルのオムリスを使って資料を調べる。
画面を触ることで検索ができ、低学年にも使いやすい。
《タッチパネルでの検索方法》
① 「資料(本・ビデオ・雑誌・CD など)をさがす」を選ぶ。
② 「かんたん検索」の検索窓にタイトルや著者名、フリーワードを入力して「さがす」ボタンをおす。
③ 条件絞込み画面が表示されるので、絞り込みたい条件のボタンをおして、「さがす」ボタンをおす。
④ 検索結果一覧の中から見たい本の行をおす。
⑤ 資料詳細画面の下部「所蔵」欄の「詳細」ボタンをおす。
⑥ 「所蔵詳細」のページの「地図を表示する」を選ぶと自分が調べるテーマの本がどのあたりの書架にあるのかがわかる。その場所に行って、オムリスで調べた本以外の本も調べる。
⑦ 百科事典や辞典類は、まず索引を調べるなど、その使い方を説明する。

５・６年生　**学校のパソコンを使って、インターネットによる蔵書検索の指導**
→少し高度な検索をやってみる

地域図書館では、多機能オムリスは基本的に２台あるいは 4 台しか設置していませんので、学校のパソコンを使って、大阪市立図書館ホームページから検索方法の学習をお願いしています。「先生のための蔵書検索マニュアル」(32～38 ページ 資料⑦)を参照してください。また、当該区の図書館へお気軽にご相談ください。

４　その他の学校支援メニュー

(1) おはなし会等への支援

図書の時間や学校おはなし会に司書やボランティアが出向いて、絵本の読み聞かせやおはなし、ブックトークなどを実施します。計画された時点で、学校のある区の市立図書館にご連絡ください。

(2) 研修や講演会への講師派遣（大人向け）

保護者や教職員を対象に、「子どもの本の選び方」等についての講師派遣を行っています。計画された時点で、学校のある区の市立図書館にご連絡ください（２カ月前程度の余裕が必要です)。実施が本決まりになった時点で依頼書をご提出いただきます。
⇒書式「講師派遣依頼書」(42 ページ　資料⑨)

(3) 学校図書館整備支援など

学校図書館の運営や図書館内のレイアウト、本の選び方など、読書環境の整備に向けた相談を、市立図書館の司書がお受けしています。お気軽に、学校のある区の市立図書館にご連絡ください。

また、学校図書館支援ボランティア・教職員向けに、入門講座・実践講座・ステップアップ講座（「ボランティア活動を始めるにあたって」「図書の修理・整理」「読み聞かせ」などの内容）を実施しています。小学校に対しては、年度当初に指導部が実施する事業説明会において、「学校図書館活性化事業」の説明のなかで講座の申込方法などを詳しくご案内しています。

また、中学校に対しては、区ごとに開催している講座の実施時に、各校に案内をお送りしています。

(4) 図書館でのボランティアの受け入れ

図書館では市民の方々のボランティア活動を受け入れています。児童のボランティア希望がありましたら、学校のある区の市立図書館にご連絡ください。

(5) 区図書館主任会等の実施に際して

区単位で図書館や読書関係の会議を開催されるときはぜひご相談ください。会議室や多目的室がある図書館では、会場提供ができるかもしれません。また、会議への司書のオブザーバー参加や、前掲（２）を活用した担当教職員研修の実施などもご検討ください。

Ⅲ　中学校・高等学校でも図書館サービスを利用してください！

１．図書館の学校向けサービス

(1)職場体験学習

あらかじめ区の図書館にご相談いただいた上、実施が決定しましたら１ヶ月前までに「図書館利用申込書」(27 ページ 資料②）をご提出ください。受け入れをする図書館の状況と実施期間に応じて、以下の内容を適切に組み合わせてプログラムを作成します。

実習にあたっては、心構え（46～48 ページ 資料⑪）を事前によくお読みください。
服装は制服・体操服等動きやすいものを着用して、「実習」と名札をつけていただきます。「○○中学校職場体験学習中、期間○○～○○」といった内容のポスターをご用意された場合は、利用者の目につきやすい場所に掲示します。

プログラム例
- 図書館の概要説明、館内見学
- 書架整頓、書架戻し、返却ポストの処理、新聞とじ
- 現物点検リストによる予約図書探し
- 相互貸借本の処理（他館への貸出と袋詰作業。借受本の処理と連絡票の出力、差込など）
- 貸出・返却業務（カウンターでの貸出と返却）
- 新刊受入作業（検収、受入れ入力、補助装備）、雑誌の装備
- 寄贈図書の受入作業（検索とデータ作成、装備）
- 催しの準備作業、ポスター・チラシなどの作成
- おすすめ本紹介カードの作成
- その他（花の水やり、館内清掃、催しの見学など）

(2) 団体貸出

市立図書館が所蔵している一般書には、統計書や写真を多用した資料など、中・高生の調べ学習に役立つ資料があります。また、修学旅行の事前学習、平和学習、一斉読書などでも市立図書館の蔵書を有効に活用していただけます。団体貸出を希望される場合は、団体貸出用の図書館カードを作る必要がありますのでお申し出ください。人数×8 冊、5 週間借り出すことができます。

資料の確保に時間がかかる場合がありますので、団体貸出のご希望については、1 ヶ月前までに各区の図書館にご相談ください。

(3) 図書館見学、職員の派遣

調べ学習や資料検索の案内などでの見学を受け付けます。郷土資料などの図書館所蔵資料の紹介や図書館ホームページを活用した資料検索講座なども行います。
また、ご要望に応じ、学校にも市立図書館の司書を派遣して、職業講話や図書館の使い方、資料検索についてのお話をするほか、中高生になお一層読書に興味を持ってもらうための当館独自の企画である「書評漫才グランプリ」(後述)の紹介やワークショップなども行います。いずれも日程の調整が必要ですのでお早めにご相談ください。

(4) その他

おはなし会や読み聞かせを開催される際に、学校に市立図書館の司書や読み聞かせボランティアを派遣します。中学生や高校生でも、絵本の読み聞かせは楽しめます。状況に合ったプログラムもご提案します。
また、学校図書館の運営に関すること（図書館のレイアウトや配架の工夫、図書の整理・修理、活用方策など）の相談もお受けしています。学校元気アップ地域本部で学校図書館や読書推進を進めている学校については、ボランティア活動へのアドバイス等も行います。
小学校向けのページにお示しした内容（18 ページ 「その他の学校支援メニュー」）を参考に、ぜひお気軽に各区の図書館にご相談ください。

２．WEB 上のサービス

大阪市立図書館のホームページ メニューで、中高生に活用していただけるものを紹介します。詳しい内容はそれぞれの項目でご紹介します。

(1) ティーンズのページ

「ティーンズのページ」を公開し、中高生に有用な情報を提供しています。
トップページの「ティーンズのページ」（前ページの（1））をクリックしてください。
メニューは 6 種類あります。

① 図書館の使い方　各区の大阪市立図書館一覧と開館カレンダー、来館利用の方法、インターネットでの利用方法、ヤングコーナーの紹介。

② 催し案内　ヤングコーナー主催行事、図書展示などの案内。過去の図書展示についてもここに記載し、図書リストも合わせて掲載。過去には「なるには仕事の本」展、「日本の古典文学を読もう」展等を開催。

③ 本をさがす（蔵書検索）　大阪市立図書館の蔵書検索へ

④ 『りんご通信』（新着図書紹介）　2 ヶ月に 1 回発行。各号ごとに設定したテーマに沿った本を数冊紹介するとともに、ヤングコーナーで受け入れた新着図書（シリーズもの等を除く）をジャンルごとに区分したリストを掲載。過去のテーマとして「桜」「目指せ！！甲子園！」等。

⑤ 本のリスト　読書案内本や部活動小説等、テーマを決めた図書のリスト。

⑥ リンク　中高生の調べものや本選び、学校生活の参考になるウェブサイトをテーマ別に紹介。

(2) 電子書籍

図書館ホームページの「電子書籍」をクリックしてください。カード番号とパスワードによるログインが必要です。
事典や辞典、語学学習などの資料を提供しています。全文を読むことができます。
資料⑧「先生のための電子書籍活用マニュアルも参考にしてください。

(3) こどものほんだな

図書館で受入れた児童向け新刊図書から子どもの本棚選定委員会が選んだ児童図書のリストです。中学生以上向けの図書も含みます。
図書館で一年分をまとめた冊子を配布しています。図書館ホームページ内、「読書推進活動」の「子どもにすすめる本」のページからもご覧いただくことができます。

(4) あなたにこの本を！

図書館で受け入れた一般成人向け新刊図書から、「あなたにこの本を！」選定委員会で選んだ推薦図書です。幅広い視点で選び、特に中高生に勧めたいものについては、「中高生にもおすすめ」のマークを付けています。
図書館ホームページ内、「読書推進活動」の「あなたにこの本を！」のページからご覧いただくことができます。

(5) 図書館ツイッターによるヤングコーナー担当行事等の案内

ヤングコーナー担当行事を含めた様々な図書館情報を 公式ツイッターで発信しています。フォローすると、最新の情報が分かります。

大阪市立図書館 Twitter 公式アカウント　@oml_tweet

ツイッターアカウントがなくても、図書館ホームページ下方の「Twitter」をクリックすると大阪市立図書館のつぶやきを時系列で見ることができます。

３．読書に親しむための工夫－読むことの面白さを伝えるために－

中高生の読書普及のためには、まず読んで見たいと手を伸ばす本に出会えることが重要と考えています。そのためには、読書のきっかけになる取り組みの方法に工夫が必要です。親や教師がすすめる本よりも、同級生や同世代のすすめる本のほうが手に取りたくなるかもしれません。

以下に紹介する取り組みは、生徒ひとりひとりによるものを想定していますが、複数やグループで取り組むのもひとつの方法です。また、取り組む際には、絵本や小説などジャンルを絞ったり、テーマを設定したほうが発想しやすいかもしれません。

【市立図書館での取り組み】

(1) おすすめ本紹介カードの活用

市立図書館では、職場体験学習時に生徒におすすめ本のカードを書いていただき、図書リストを作成してホームページで公開しています。図書館ＨＰの「この本おもしろいよ！」(http://www.oml.city.osaka.lg.jp/?page_id=889#_3613)を参照してください。
本を展示して、おすすめ理由やあらすじ紹介のカードを一緒に掲示しても、読書へのきっかけ作りに役立ちます。

(2) 書評漫才

書評漫才とは、1 冊の本をコンビにより漫才形式で紹介するものです。大阪市立図書館では、毎年、書評漫才グランプリを開催しています。10 代のコンビがおすすめの本を紹介し、①本を読みたい気持ちにさせたか、②紹介の面白さ、③その他（インパクトなど）の 3 つの基準により審査を行い、グランプリや各賞を決定しています。「トップページ＞ティーンズのページ＞催し案内」(http://www.oml.city.osaka.lg.jp/?page_id=890)で、開催案内や過去の結果を公開しています。

学校で実施するためのアドバイスやワークショップなどについてもご相談ください。

【中高校生の読書普及をめぐる最近の取り組み例】

(1) 本の POP 作り

おすすめする本が読みたくなるような POP（広告カード）を文章やイラストを交えて作成し、作成した POP と本を合わせて展示します。

コンクールの形式をとるものもありますが、展示だけでも読書へのきっかけ作りになります。大阪府立中央図書館主催「あなたのおすすめ本の POP 広場　POP 募集と選考・展示のご案内」(http://www.library.pref.osaka.jp/central/syogaigakusyu/25pop/25pop.html)等を参照してください。

(2) 本の帯作り

本の面白さが伝わるような帯を作成し、作成した帯と本を合わせて展示します。大阪こども「本の帯創作コンクール」(http://www.osaka-books.ne.jp/index.php?e=148)等を参照してください。

(3) ビブリオバトル

ビブリオバトルは、本の紹介コミュニケーションゲームで、「知的書評合戦」とも呼ばれています。

公式ルールは、

①発表参加者が読んで面白いと思った本を持って集まる。

②順番に一人5分間で本を紹介する。

③それぞれの発表の後に参加者全員でその発表に関するディスカッションを2～3分する。

④全ての発表が終了した後に「どの本が一番読みたくなったか？」を基準とした投票を参加者全員で行い、最多票を集めたものを『チャンプ本』とする。

と定められています。

発表参加者だけでなく全ての参加者が楽しめ、読書のきっかけ作りに役立つイベントです。詳細はビブリオバトル公式ウェブサイト(http://www.bibliobattle.jp/)をご参照ください。

資料①

大阪市立図書館一覧

図書館名	電話番号	ファックス	住所
中　央　図書館	06-6539-3326	06-6539-3336	〒550-0014 大阪市西区北堀江 4-3-2
北　図書館	06-6375-0410	06-6371-3177	〒531-0074 大阪市北区本庄東 3-8-2
都　島　図書館	06-6354-3229	06-6354-7822	〒534-0027 大阪市都島区中野町 2-16-25
福　島　図書館	06-6468-2336	06-6468-5191	〒553-0006 大阪市福島区吉野 3-17-23
此　花　図書館	06-6463-3463	06-6463-9688	〒554-0014 大阪市此花区四貫島 1-1-18
島之内　図書館	06-6211-3645	06-6212-5449	〒542-0082 大阪市中央区島之内 2-12-31
港　図書館	06-6576-2346	06-6571-7915	〒552-0007 大阪市港区弁天 2-1-5
大　正　図書館	06-6552-1116	06-6551-9362	〒551-0003 大阪市大正区千島 2-6-15
天王寺　図書館	06-6771-2840	06-6771-3801	〒543-0037 大阪市天王寺区上之宮町 4-47
浪　速　図書館	06-6632-4946	06-6632-4973	〒556-0015 大阪市浪速区敷津西 1-5-23
西淀川　図書館	06-6474-7900	06-6477-0463	〒555-0012 大阪市西淀川区御幣島 1-2-10
淀　川　図書館	06-6305-2346	06-6305-9129	〒532-0025 大阪市淀川区新北野 1-10-14
東淀川　図書館	06-6323-5476	06-6323-1738	〒533-0023 大阪市東淀川区東淡路 1-4-53
東　成　図書館	06-6972-0727	06-6972-0278	〒537-0014 大阪市東成区大今里西 3-2-17
生　野　図書館	06-6717-2381	06-6717-3119	〒544-0021 大阪市生野区勝山南 4-7-11
旭　図書館	06-6955-0307	06-6955-0287	〒535-0003 大阪市旭区中宮 1-11-14
城　東　図書館	06-6963-5680	06-6963-5688	〒536-0017 大阪市城東区新喜多東 1-1-7 ※平成 25 年 2 月 1 日より新館オープン（平成 27 年度予定）まで仮移転開館中
鶴　見　図書館	06-6913-0772	06-6913-3975	〒538-0052 大阪市鶴見区横堤 5-3-15
阿倍野　図書館	06-6656-1009	06-6656-1043	〒545-0052 大阪市阿倍野区阿倍野筋 4-19-118
住之江　図書館	06-6683-2788	06-6683-8840	〒559-0015 大阪市住之江区南加賀屋 3-1-20
住　吉　図書館	06-6606-4946	06-6606-6987	〒558-0041 大阪市住吉区南住吉 3-15-57
東住吉　図書館	06-6699-7000	06-6699-3222	〒546-0032 大阪市東住吉区東田辺 2-11-28
平　野　図書館	06-6793-0881	06-6791-5038	〒547-0043 大阪市平野区平野東 1-8-2
西　成　図書館	06-6659-2346	06-6659-8599	〒557-0041 大阪市西成区岸里 1-1-50

資料 ②

図書館宛

図書館利用申込書(児童・生徒が来館して利用する際の申込)

申込日　　年　　月　　日

(1) 来館の目的　　どれかに〇をつけてください

①図書館見学　②職場体験　③調べ学習　④その他(　　)

(2) 学校名・学年・来館人数

学校　　年生　　名(　　クラス)

来館予定日

第1希望	月	日(　)	時	分	～	時	分
第2希望	月	日(　)	時	分	～	時	分

(3) 教科名

単元

(4) どのような支援が必要ですか　　必要なものに〇をつけてください

- 見学の案内
- 図書館の利用について説明
- 検索方法について説明
- その他(　　)

(5) 下見について

- 予定あり(　　月　　日　ごろ予定している　　日程は未定　)
- なし

(6) 学校の担当者

お名前　　電話　　FAX

(図書館処理欄　受付日　　担当者　　)

図書館宛

図書の貸出依頼票～調べ学習/一斉読書用

申込日　　年　　月　　日

(1) 学校の担当者

学校名　　学年　　組　　児童数　　人

お名前　　電話　　FAX

(2) 教科・用途など

①学年　　②クラス数

③教科名

④どのような図書が必要ですか

（1・2年生向けでよみものを中心に、手芸部で作品づくりの参考に、グループごとにテーマが分かれる、テーマが多岐にわたる場合も別紙を貼付していただくなど、できるだけ具体的にお願いします）

⑤図書の使い方と必要な冊数　　冊

（グループで数冊を使う、各人に1冊ずつなど、資料を用意する上で注意事項があればお書きください。）

⑥図書が必要な期間　　月　　日（　　）～　　月　　日（　　）

※期間に余裕をもってお申込ください。（1ヶ月前には）

⑦団体図書館貸出カードをお持ちの場合　図書館カードの番号

(2) 図書の搬送手段　……どちらかをご指定ください

・ 学校逓送（到着日の指定はできません。）

※ 市立特別支援学校、および各区の図書館よりおおむね1.5Km以上離れている市立小学校を優先します。（個別事情はご相談ください）

・ 来館　来館予定日　　月　　日（　　）

先生だけ来館

先生と生徒が来館　　年生　　組（　　人程度）

学校支援ボランティアが来館

※他校とテーマが重なった場合等、ご希望に十分沿えないことがあります。

（図書館処理欄　受付日　　担当者　　）

調べ学習をする皆さんへ

大阪市立中央図書館

図書館は、大勢の皆さんが利用する公共の施設です。マナーを守り、おたがいに迷惑にならないよう気をつけましょう。

◇ 図書館のなかでは静かに行動しましょう。

先生や図書館の職員の言うことを守り、騒いだり走り回ったりしないようにしてください。

グループ学習は、1階の交流室でおこなってください。

◇ 閲覧室内は飲食禁止です。

閲覧室では、物を食べたり、ジュースを飲んだりしないでください。

◇ 長時間、座席に荷物を置いたままにしないでください。

座席を実際に使用しないまま独占することになりますので、必要な資料を探してから座席を使用するようにしてください。

◇ 使用した本は、元の本棚に返すようにしてください。

図書館の本は、分類にしたがって規則どおりに並んでいます。元あった場所と違うところに置くと次に利用する人が探せなくなります。必ず元あった場所に返すようにしてください。

◇ オムリスを利用して本を探すときは、グループで1台の機械を使って探すようにしてください。

オムリスの台数には限りがあります。生徒がひとり1台使うと、他の利用者が使えなくなりますので、グループで1台使うようにしてください。

◇ カウンターで質問するときは、グループの代表者がまとめて質問するようにしてください。

◇ 書庫にある本を申し込むときは、出版年などに気をつけ、その本でよいか、よく考えて申し込むようにしてください。

団体貸出利用案内（施設用）

資料⑤

1. 利用できる団体

大阪市内及び八尾市内に所在する学校、幼稚園、保育所、病院、福祉施設、社会教育施設。及びこれに類する施設で、施設単位で利用するものであること。

ただし、学校等は学級単位、学年単位でも利用できます。

2. 登録の申込み

「団体貸出（施設用）申込書」に必要な事項を記入し、担当者の住所、名前を確認できる証明書もしくは、施設に所属することを確認できる証明書を添えて申込みをしてください。

（1） 登録の有効期限は、登録した日の年度末（3月31日）までです。
ただし代表者及び担当者ともに変更がない場合は、更に1年間延長することができま

（2） 登録した図書館以外では使えません。

（3） パスワードの発行はできません。

3. 貸出冊数及び期間

構成人員1人当たり8冊以内（ただし999冊を超える場合は999冊を限度とする）

貸出期間は5週間です。

4. 貸出できない資料

次の資料は原則として貸出できません。

（1） 辞書等の参考図書及び郷土資料

（2） 多数予約が付いている本

（3） DVD、ビデオテープ、CD、カセットテープ等の視聴覚資料

（4） その他、図書館長が適当でないと認めるもの

5. 資料の延長、予約について

（1） 延長（延期・継続貸出)はできません。

（2） 予約はできません。

6. 貸出・返却手続（原則）

（資料の貸出） 貸出を受けるすべての資料について、一括して行ってください。

（資料の返却） 貸出手続を行った図書館の窓口に、一括して返却してください。

7. 運搬

資料の運搬は、利用者ご自身で行ってください。大阪市立小学校の場合は、学校逓送便を活用できる場合があります。当該区の図書館にご相談ください。

ただし、資料の到着日時は指定できませんので、あらかじめご承知おきください。

8. 紛失等

貸出を受けた資料を紛失又は汚破損したときは、速やかに図書館長に届け出てください。

この場合、原則として同一資料による弁償をしていただきます。

「団体貸出申込書（施設用）」に記載された責任者及び担当者には、以上の各事項について責任を持って履行していただきます。

資料⑥

団体貸出申込書（施設用）

年　　月　　日

＊この申込書は、年度ごとに提出していただきます。
＊個人情報は目的外には使用いたしません。

ふりがな		構成人員	
団体名		名	
団体所在地	〒		
電話			
FAX			
ふりがな			
代表者名			
担当者 ふりがな			
担当者 名前			
担当者 住所（自宅）	〒		
担当者 電話（自宅）		携帯電話	
担当者 FAX（自宅）			

先生のための蔵書検索マニュアル

大阪市立図書館のホームページ上の蔵書検索について概説します。(図書館のなかにある「多機能オムリス」を使っても、ほぼ同じやり方で検索できます。)件数等数値は変わりますので、目安とご理解ください。

1． 調べるコツ

① 図書館に来館して調べるときは

・まずは、書名(タイトル)から検索することによって、自分が探しているテーマはどのあたりの書架を探せばいいのかがわかります。

・どのあたりの書架かがわかれば、書名に調べたい言葉が入っていなくても、調べたい情報がのっている本も見つかります。使えそうな資料の索引に調べたい言葉があるのかを調べます。辞典や百科事典の索引なども有用です。

・新しいできごとについては、新聞や雑誌が有効。中央図書館には、当日の新聞、地方の新聞、昔の(明治時代)新聞記事などいろいろな新聞があるので活用できます。

・館内の多機能OMLISで商用データベースの利用もできます。新聞や雑誌の記事検索、法律・判例情報や、医学・科学技術の最新の研究成果、辞典・事典類の横断検索などが検索可能です。データベースの内容は常に更新されていますので、最新の情報を

くわしくは → http://www.oml.city.osaka.lg.jp/?page_id=498

② インターネット上で調べる

・いろいろな角度から、調べるテーマを考えてみることが必要。

たとえば、「環境破壊」というテーマを考えてみると、

環境が破壊されたら何が起こるか→絶滅の危機にある動物、公害の問題など

何が原因で環境が破壊されたんだろう→排気ガス、工業排水など

わたしたちにできること→ポイ捨てをやめる、環境を破壊する開発を見直すなど

・「概念のまとめ方」を考えてみる。

大きな概念→→→→→→→→→→→→		小さな概念
勉強	→国語→	→漢字の読み方
自然	→動物→ 動物の分布(どこで暮らしているか)	→天然記念物
医学	→治療方法	→食事療法
産業	→農業→ 作物の栽培	→作物につく害虫

思うように見つからないときは、「大きな概念」「小さな概念」はなにかを考えてみる。

・大阪市立図書館のホームページでも、「調べものお役立ちリンク集」として、調べ物に役立つWebサイトの紹介をしています。

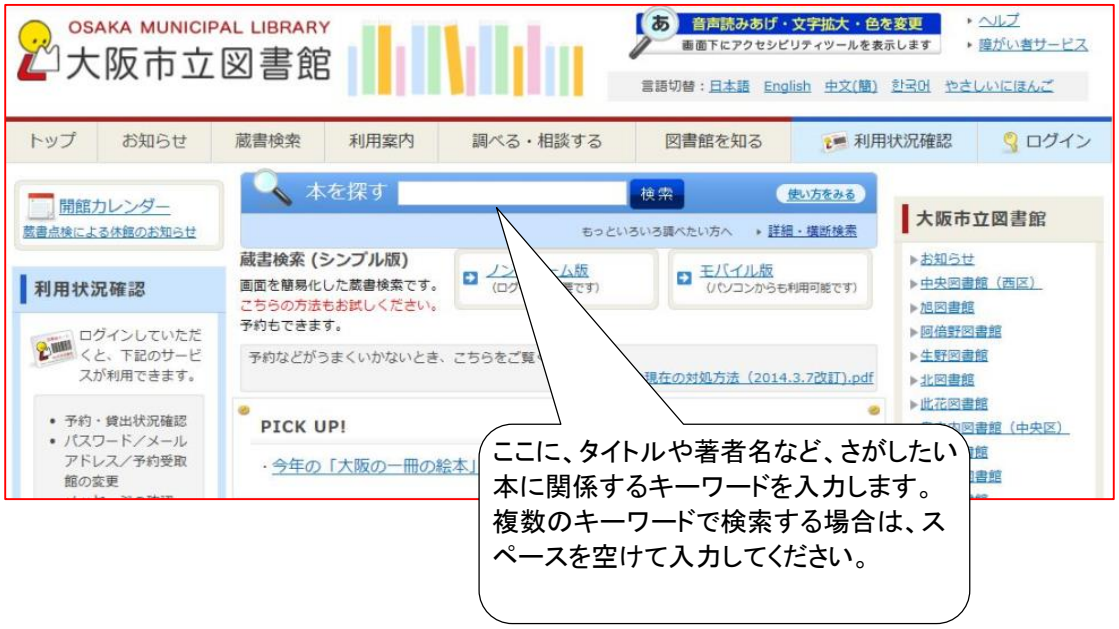
くわしくは → http://www.oml.city.osaka.lg.jp/?page_id=497

③ 対象ごとのプログラムについて

初めて多機能オムリスを使う5．6年生には、まずオムリスを使っての検索に慣れることと、複合検索ができるようになれば充分です。集合の概念を習うのは中学生になってからだと思いますので、言葉をふたつ使って検索できる、といった感覚を持ってもらいたい、と考えています。中学生には、書名と出版年を組み合わせて検索する等、複数の条件で絞り込む工夫を知ってもらいたい、また、新聞記事検索等商用データベースも使ってみていただければと思っています。

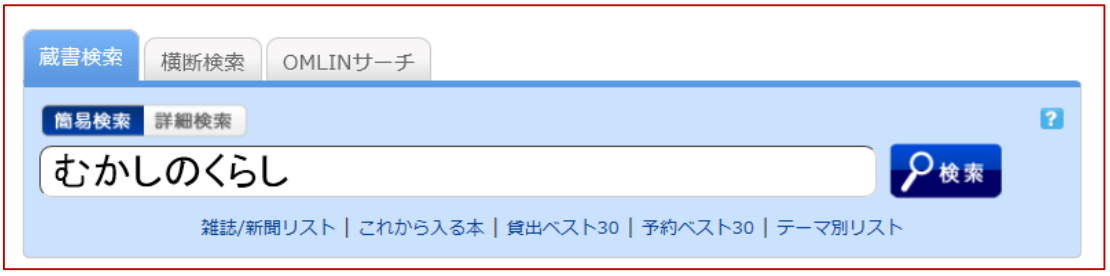
２．　蔵書検索の方法

ホームページのトップ画面



① 検索窓に、「むかしのくらし」と入力します。

入力した言葉が、キーワード（書名・著者名・出版者名・件名など）に含まれるものを検索することができます。



② ひらがなで入力すると、よみから検索するので、「昔の暮らし」や「昔のくらし」が含まれるものもヒットします。

漢字まじりの「昔の暮らし」で検索すると、その表記どおりに検索するので、「昔のくらし」や「むかしのくらし」が含まれるものはヒットしません。

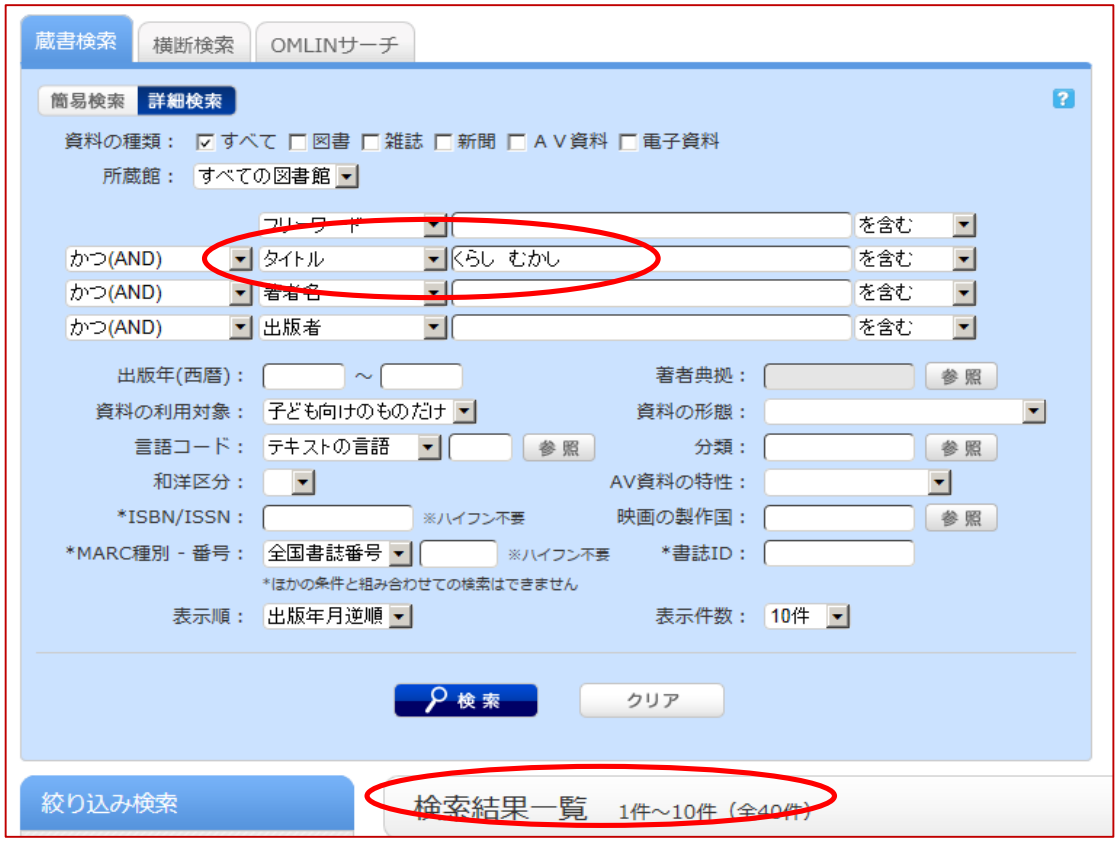
③ 「詳細検索画面」では、複数の検索項目を組み合わせて検索する、子ども向けのものだけを検索する、など高度な検索ができます。

④ 詳細検索の画面です。

「タイトル」のところに「くらし」と入力して、「資料の利用対象」を「子ども向けのものだけ」で検索します。1440件見つかりました。

⑤ 1440件と多すぎたので、複合検索をやってみます。

タイトルに「くらし」と「むかし」の両方が含まれるものを探します。「くらし」と「むかし」のあいだにスペースを入れてタイトルに「くらし」と「むかし」の両方が含まれるものを探すことができます。40件見つかりました。



⑦ 「絵でわかる社会科事典 3 昔のくらし道具 」 のタイトルをクリックして「書誌詳細画面」を開きます。

この本は、中央図書館では、こどもの本のコーナーにあることがわかります。
画面をスクロールし、目次・あらすじのところを見ると、本の内容がわかります。
書誌詳細も見ることができます。

図書

絵でわかる社会科事典 3 昔のくらし*道具

鎌田 和宏/監修/学研教育出版/2013.2/300◇303.3◇303.3 <0012674715>

便利機能： ブックマーク 出力 メール

▶ 詳細情報を見る

書誌URL： http://web.oml.city.osaka.lg.jp/webopac_i_ja/0012674715 選 択

所蔵一覧

所蔵件数:11件　全館予約状況:予約はありません。　予約カートに入れる

▶ 検索条件を取り除いて、所蔵一覧を再表示する

検索条件： (資料の利用対象=子ども向けのものだけ)

No.をクリックするとくわしい所蔵の情報を表示します。場所をクリックすると配架マップを表示します。

10件　1 2 次へ >>

No.	所蔵館	場所	ラベルの記号	備考	状態
0001	中央	1階 こども (ふくほん)	300//		貸出中です
0002	中央	1階 こども(しらべる本)	300//		

▲ このページのTOPへ

目次・あらすじ

内容紹介

社会科の知識を50音順でひける本格絵事典。3は、昔のくらしと道具に関する知識や用語を、楽しいイラストや写真、図版を交えてわかりやすく解説。社会科の調べ学習のテーマ決めに最適。
社会科の知識(ちしき)を楽しいイラストでわかりやすく紹介(しょうかい)する事典。家や近所、学校などの場面ごとに、昔の人のくらしの様子と、そこで使われていた道具がどのような道具だったのかを写真や図版(ずはん)を交えてくわしく説明します。

内容

台所;茶の間;囲炉裏;縁側;井戸;和室;子ども部屋;寝室;玄関;風呂[ほか]

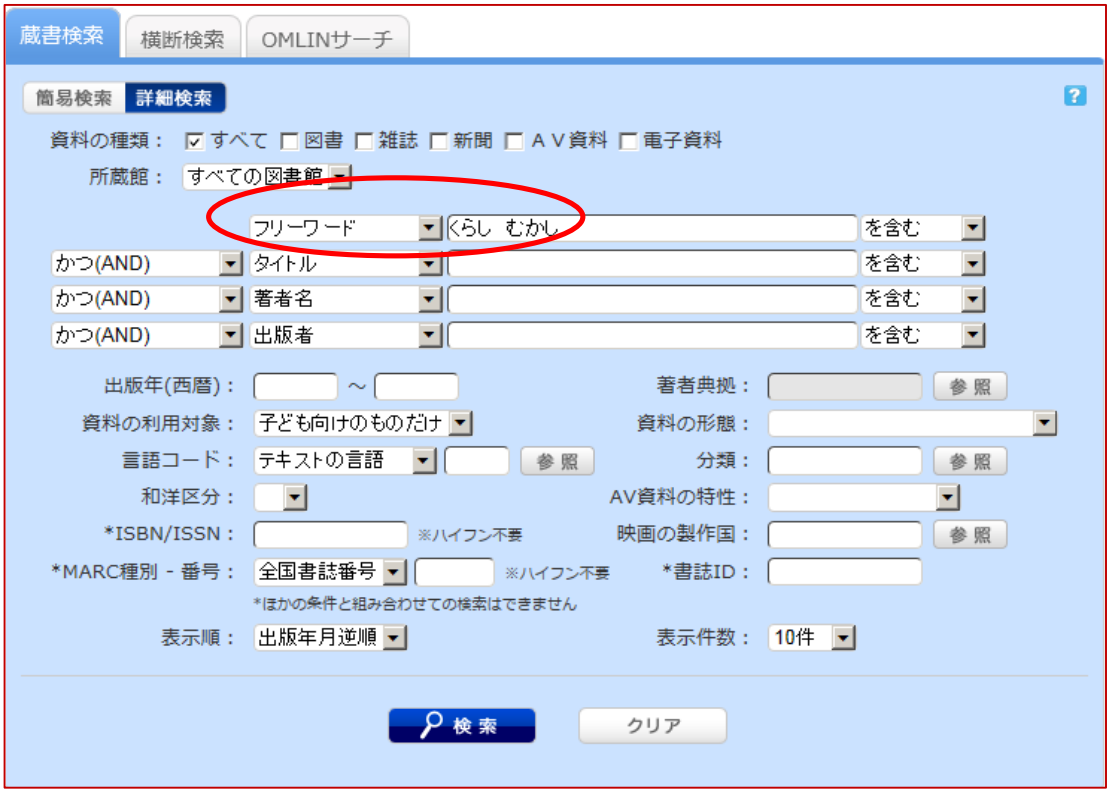
出典

書誌詳細

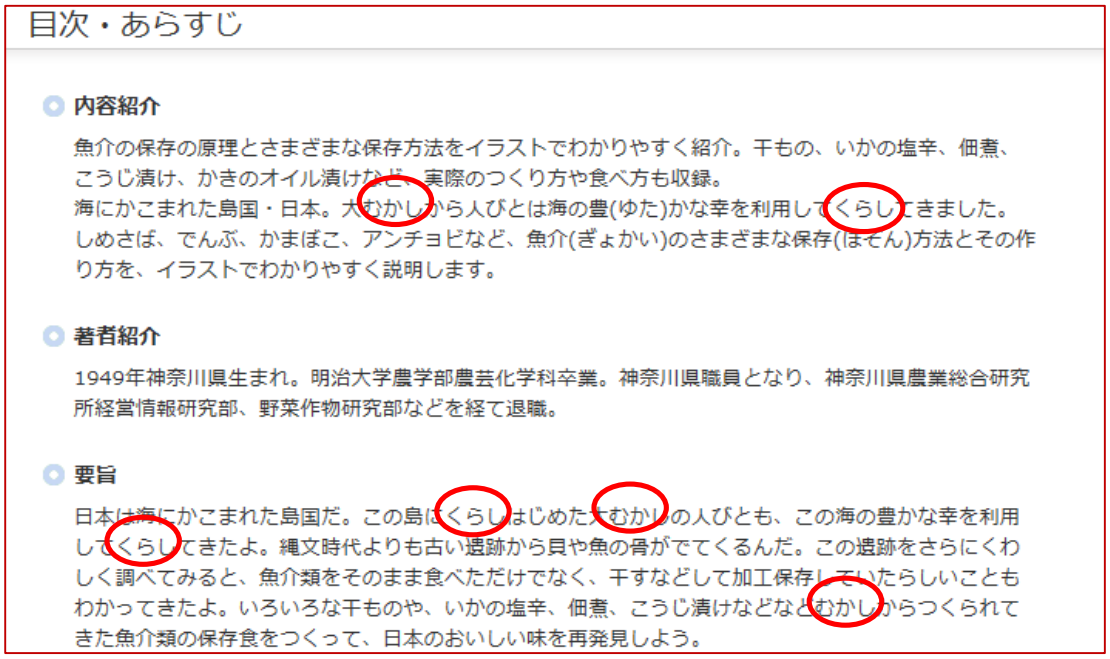
本文言語	日本語
タイトル	絵でわかる社会科事典　3
著者名	鎌田 和宏/監修
出版者	東京：学研教育出版 東京：学研マーケティング(発売)
出版年	2013.2
形態など	175p；30cm
各巻書名	昔のくらし*道具
書誌ID	0012674715
ＩＳＢＮ	978-4-05-501002-3：ＩＳＢＮ（セット）978-4-05-811265-6
価格	5500
ＮＤＣ	303.3
検索用分類	300
基本分類	303.3
タイトルヨミ	エ デ ワカル シャカイカ ジテン
著者ヨミ	カマタ,カズヒロ
件名	社会科-辞典

⑧ 次は、フリーワードのところに「くらし」と「むかし」と入力し、検索します。

フリーワードでの検索は、タイトル、著者名、出版社、件名などすべての項目を検索するので、ヒット件数が多くなることもあります。



⑧ タイトルを見るだけでは、「くらし」も「むかし」も出てこない『保存食の絵本5 魚介』の「書誌詳細画面」を開いてみます。



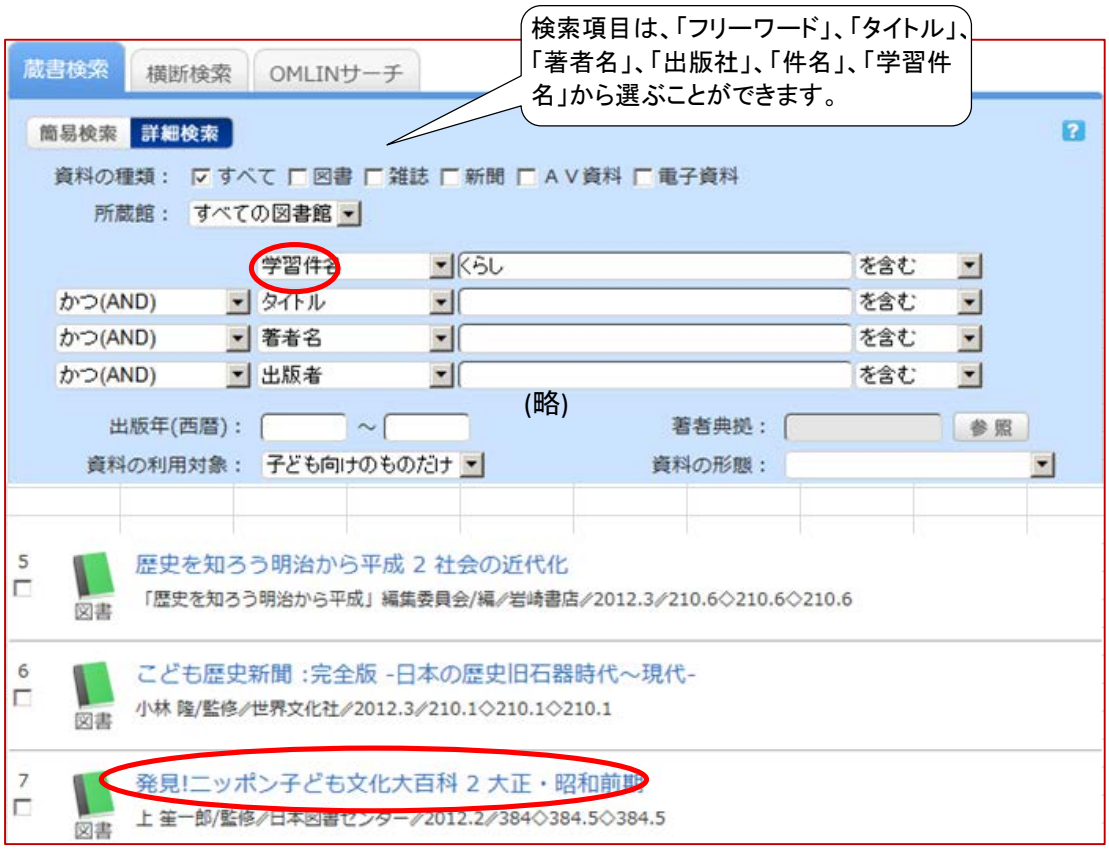
⑨ 検索項目「学習件名」での検索もお試しください。

「学習件名」とは、子どもの調べ学習に役立つようにその本の主題(テーマ)を簡潔なことばで表したもののことです。

調べ学習で「くらし」について調べたいとき、タイトルに「くらし」と入力し検索すると、タイトルに「くらし」を含む読み物や絵本など、調べ学習に関係のない本もヒットしてしまいます。

検索項目に「学習件名」を選んで検索すると、学習テーマを表す語を指定して検索することができます。

【学習件名に「くらし」を含む本を検索した場合】



先生のための電子書籍活用マニュアル

大阪市立図書館のホームページから、電子書籍サービスをご提供しています。図書館の開館時間にかかわらず、学校やご自宅のパソコンからでもご利用いただけます。また、タイトルや著者・目次の検索に加えて、提供している電子書籍の本文すべてを任意のキーワードで検索し、検索結果から本文を参照していただくことができます。

現在提供している電子書籍は、ビジネス知識の習得・資格取得・語学学習に役立つ本や、様々な分野の専門事典類、大阪に関する本、日本史の基本的な歴史文献を集めた『国史大系』など約1100タイトルです。また、約3500タイトルの著作権フリーの英語図書もご利用いただけます。(2013年10月現在)

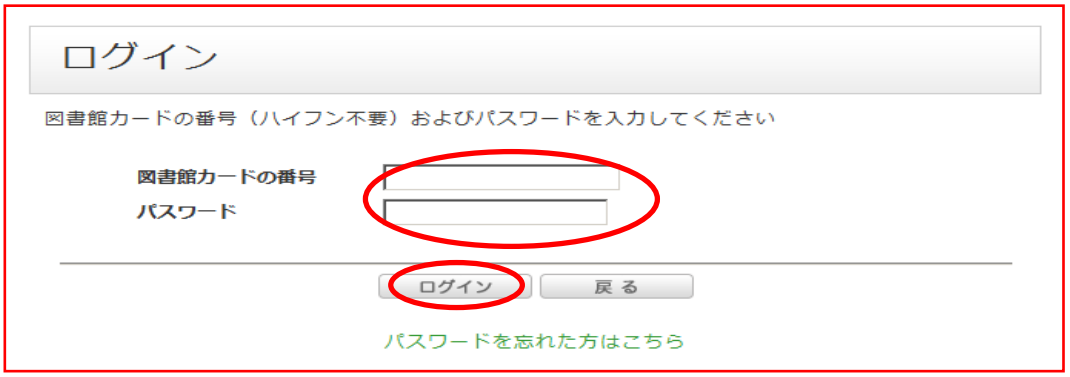
http://www.oml.city.osaka.lg.jp/?page_id=494

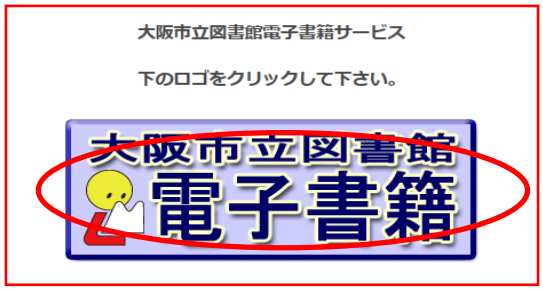
電子書籍活用の方法

① トップページから、「電子書籍」をクリックします。

② [eBook Collection認証画面]からログインしてください。

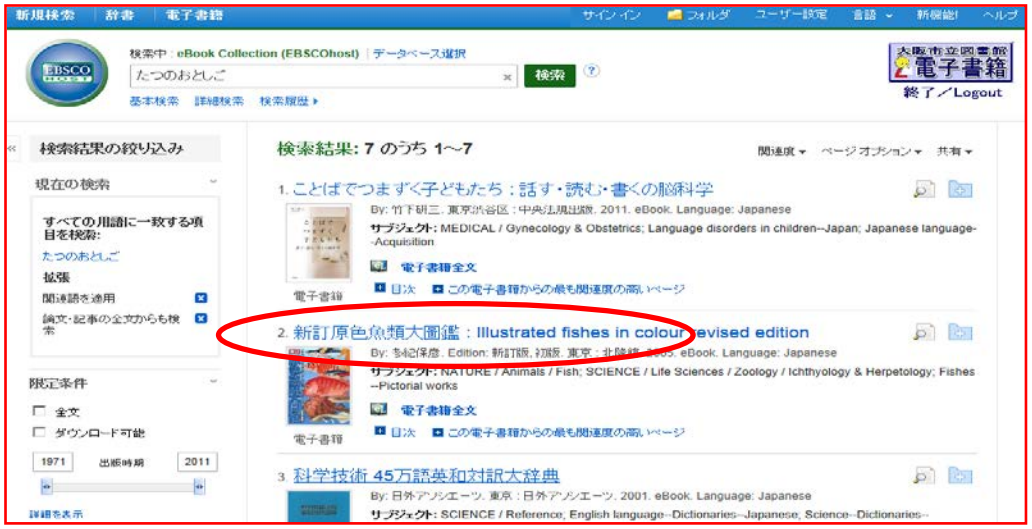
③ お手元の図書館カード番号(数字のみ9桁)とパスワードを入力 して、ログインボタンをクリックしてください。次に、[大阪市立図書館電子書籍]のロゴをクリックしてください。
※団体ではなく個人の図書館カードとパスワードの発行が必要です。)



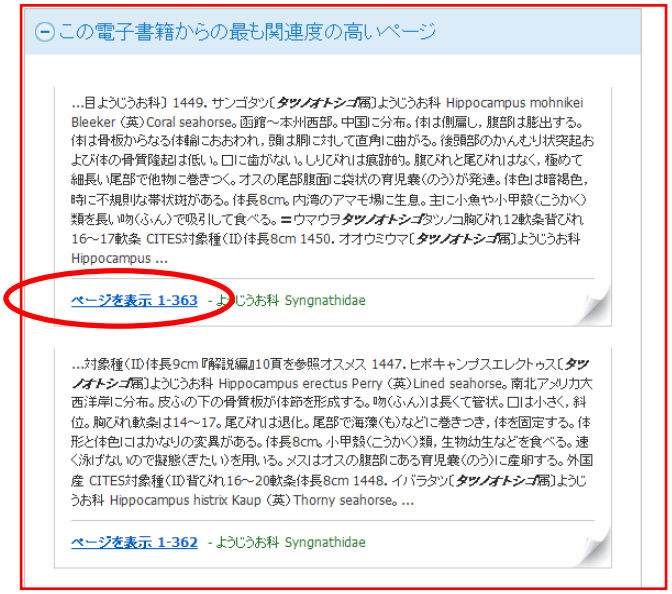


④ 電子書籍の検索窓に、任意のキーワード、ここでは、「たつのおとしご」と入力し、検索ボタンをクリックします。

⑤ 大阪市立図書館が提供しているすべての電子書籍の全文テキストを対象に、「たつのおとしご」というキーワードの入った書籍を探しだし、タイトル一覧が表示されます。
ここでは、二番目に表示されている、「原色魚類大図鑑」をクリックします。

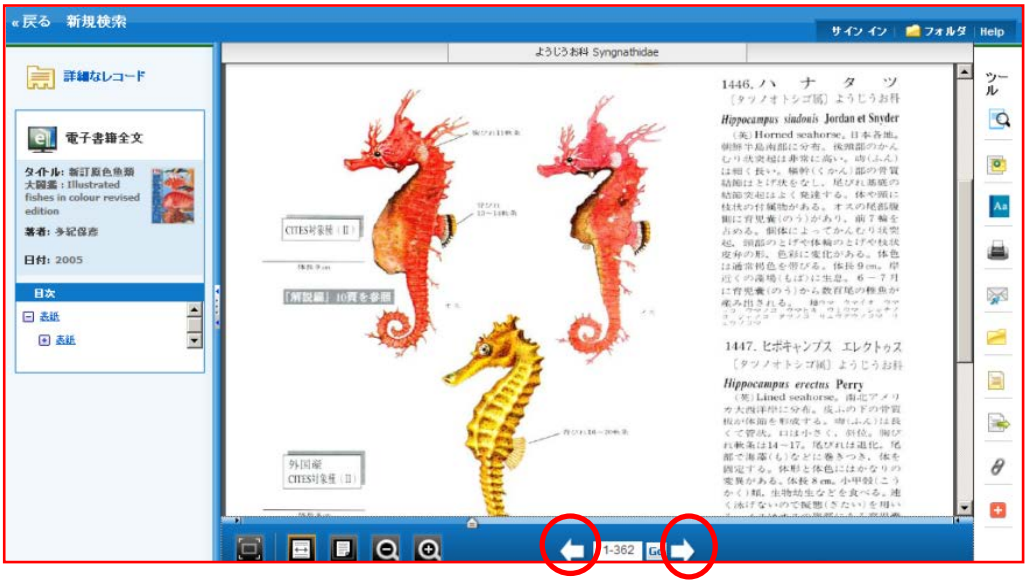


⑥ この電子書籍から最も関連度の高いページのテキスト部分が表示されます。
「ページを表示」をクリックします。



⑦ 当該ページが画像情報とともに表示されます。画面下の←(左矢印)をクリックすると前ページが、→(右矢印)をクリックすると次ページが表示されます。

⑧ 矢印をクリックすることにより、前後のページが表示され、いろいろな種類のたつのおとしごも調べることができます。



資料⑨

講師派遣依頼書

申込日　　年　　月　　日

図書館宛

① 学校名

学校の担当者名

（電話　06-　　）

（FAX　06-　　）

② 日時

年　　月　　日　　時限目（　　時　　分～　　時　　分）

年　　月　　日　　時限目（　　時　　分～　　時　　分）

③ 場所（○をしてください）

講堂　　多目的室　　教室（　　）

④ 対象者

年生　　名　　クラス

⑤ 内容（○をしてください）

- 全校おはなし会への参加
- 児童いきいき放課後活動での読み聞かせ
- PTAを対象とした子どもの読書活動についての説明
- 学校で活動するボランティアを対象とした講座
- その他（具体的に　　）

（図書館処理欄　受付日　　担当者　　）

おはなしボランティア　プログラム例

絵本の読み聞かせ中心のおはなし会

（あくまでプログラムの事例ですので、おはなし会を実施される際には、おはなし会のテーマや方法等、事前に打ち合わせを行った上でプログラムを決定することになります。）

小学校　**低学年**のみなさんへ

えほん「あきのかわらでいもにかい」
さいと ゆふじ作　福音館書店
組み木「おおきなかぶ」
絵かきうた「私のピョ子ちゃん、どこ行った？」
『らくがきえかきうた』より
てぶくろ人形「ネズミのかあさん　ネコに勝つ」
『おはなしおばさんの世界のおはなしむかしむかし』より

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

えほん
「おだんごスープ」　角野栄子作　偕成社
「なにをたべてきたの」岸田衿子作　佼成出版社
ブックトーク　空をみあげて
「雲のてんらん会」　いせひでこ作　講談社
「お月さまってどんなあじ」
ミヒャエル・グレイニュク作　セーラー出版
「うそつきのつき」　内田麟太郎作　文渓堂
「ぽんぽん山の月」　あまんきみこ作　文研出版
「うさぎのさいばん」
キム・セシル作　少年写真新聞社

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

パネルシアター　「十二支のはじまり」
ブックトーク　来年は何どし？
「十二支のはじまり」　長谷川摂子作　岩波書店
「こいぬがうまれるよ」
ジョアンナ・コール作　福音館書店
「あしなが」　あきやまただし作　講談社
「しっぽのぽ」バルベリス作　アスカコーポレーション
「しっぽのはたらき」　川田健作　福音館書店
「にゃーご」　宮西達也作　鈴木出版
おはなし「すてきなクリスマスツリー」
『おはなしだいすき』より　新読書社

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

おはなし　「ロバの耳はなぜながい」
えほん
「ねずみくんのしりとり」　なかえよしを作　ポプラ社
「しりとりのだいすきなおうさま」
中村翔子作　すずき出版
パネルシアター
「あいうえ王さま」『アイウエ王とカキクケ公』より
三芳悌吉作　童心社
えほんのしょうかい
「どうぶつはやくちあいうえお」
きしだえりこ作　のら書房
「お江戸はやくちことば」
杉山亮作　河合楽器製作所出版事業部
「ころころラッコこラッコだっこ」
石津ちひろ　ＢＬ出版

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

えほん
「キャベツくん」　長新太作　文研出版
「おだんごぱん」　ロシア民話　福音館書店
おはなし「うさぎとひきのもち争い」
『子どもに語る日本の昔話 3』より　こぐま社
紙芝居「にじになったきつね」　童心社
えほん
「もけらもけら」やましたようすけ作　福音館書店

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

えほん「おおきなかぶ」ロシア民話　福音館書店
おはなし「エパミナンダス」
『愛蔵版おはなしのろうそく１』より東京子ども図書館
おはなし組み木「てぶくろ」
大型紙芝居「あひるのおうさま」
パネルシアター「ハレルヤ」

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

小学校　**中学年**のみなさんへ

えほん「わたし」　谷川俊太郎作　福音館書店
おはなし「ロバの耳はなぜ長い」
『世界むかし話 14　南欧』より　ほるぷ出版
ブックトーク　飛ぶ？飛ぶ。飛ぶ！
「とびひ」　井上洋介作　学研
「たねのゆくえ」　埴沙萠作　あかね書房
「スズメぼうし」　たつみや章作　あかね書房
「ふしぎなたいこ」　いしいももこ作　岩波書店
「おばあさんの飛行機」　小林実作　福音館書店

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

おはなし組み木
「三びきのやぎのがらがらどん」　北欧民話
おはなし「おおかみと七ひきのこやぎ」
『子どもに語るグリムの昔話』より　こぐま社
えほん
「あらまっ！」　ケイト・ラム作　小学館
「ふくろうのそめものや」山口マオ作　すずき出版
おはなし「ロバの耳はなぜ長い」
『世界むかし話　南欧編』より　ほるぷ出版

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

詩「のはらうた」　くどうなおこ作　童話屋
えほん
「あめだま」　新美南吉作　にっけん教育出版
ことばあそび
「ことばのこばこ」　和田　誠作　瑞雲社
おはなし
「はなたれこぞうさま」川村たかし作　教育画劇

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

おはなし
「スーホの白い馬」大塚勇三／再話　福音館書店
えほん「どうながのプレッツェル」
H.A.レイ作　福音館書店
ブックトーク　あなのはなし
「しょうにゅうどう探検」徳富一光作　福音館書店
「マンホールからこんにちは」
いとうひろし作　徳間書店
「ライオンが学校へやってきた」
フィリッパ・ピアス作　岩波書店
「よかったね、ネッドくん」
レミー・チャーリップ作　偕成社
「まほうのわ」折井英治・折井雅子作　大日本図書

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

えほん
「おでかけ　おでかけ」小長谷清実作　福音館書店
おはなし「ならなしとり」
『ついでにペロリ』より　東京子ども図書館
ことばあそび
「どんどんちっち　どんちっち」川崎洋作　学研
ブックトーク　まっすぐいったら
「ぼくはあるいた まっすぐ まっすぐ」
マーガレット・ワイズ・ブラウン作　ペンギン社
「バムとケロのそらのたび」島田ゆか作　文溪社
「おばけ桃の冒険」　ロアルド・ダール作　評論社
えほん「いちばんちいさいトナカイ」
マイケル・フォアマン作 評論社

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

えほん
「クリスマスのおくりもの」木村由利子作　至光社
おはなし「おだんごスープ」角野栄子作　偕成社
ブックトーク　どう見える？
「ゆかいな仮装をたのしむ本」
アンジェラ・ウィルクス作 メディアファクトリー
「いたずらおばあさん」高楼方子作　フレーベル館
「ぼくはくまのままでいたかったのに」
イエルク・シュタイナー作 ほるぷ出版
「にたものランド」
ジョーン・スタイナー作　徳間書店
「3びきのかわいいおおかみ」
ユージーン・トリビサス作　富山房
「ベーコンわすれちゃだめよ！」
パット・ハッチンス作　偕成社

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

小学校　**高学年**のみなさんへ

おはなし

「旅人馬」　『日本の昔話 3』より
小沢俊夫再話　福音館書店

「ホットケーキ」　『おはなしのろうそく 18』より
東京子ども図書館

ブックトーク　小さくなると…

「スプーンおばさん　ちいさくなる」
アルフ・プリョイセン作　偕成社

「ミーズルとミクロの仲間たち」
イアン・オグビー作　講談社

「ミーズルと無敵のドラゴン」
イアン・オグビー作　講談社

「2 ひきのいけないアリ」
C.V.オールズバーグ作　あすなろ書房

「アリになったカメラマン」　栗林慧作　講談社

「ぼくはどこ　ぼくはだれ？」
近藤薫美子作　ブックローン出版

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

おはなし「蜘蛛の糸」　芥川龍之介作　偕成社

ブックトーク　クモ

「8 本足のゆかいな仲間」谷本雄治作 くもん出版

「虫のくらし写真館 22　クモ」
海野和男　写真　ポプラ社

「おはなし　おはなし」
ゲイル・E・ヘイリー作　ほるぷ出版

「シャーロットのおくりもの」
E・V・ホワイト作　あすなろ書房

「くも」　新宮晋作　文化出版局

科学あそび　ふしぎふしぎ

「ふしぎなナイフ」
中村牧江・林健造作　福音館書店

「まほうのわ」折井英治・折井雅子作 大日本図書

「視覚ミステリーえほん」
ウォルター・ウィック写真　あすなろ書房

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

絵本「秋」　五味太郎作　絵本館

おはなし「馬方やまんば」
『日本の昔話 5』より　小沢俊夫再話　福音館書店

ブックトーク　チョコレート

「チョコレートのひみつ」　田村滋作　学研

「魔法使いのチョコレートケーキ」
マーガレット・マーヒー作　福音館書店

「チョコレート工場の秘密」
ロアルド・ダール作　評論社

「こねこのチョコレート」
B．K．ウィルソン作　こぐま社

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

おはなし「浦島太郎」
『子どもに語る日本昔話 5』　こぐま社

ブックトーク「テディベアズ・デー」

「ふるびたくま」
クレイ・カーミッシェル作　BL 出版

「ポーラー」
デイジー・C・S・スペドゥン作　リブリオ出版

「人はクマと友だちになれるか？」
太田京子作　岩崎書店

「クマは「クマッ」となく？！」
熊谷さとし作　偕成社

「クマよ」　星野道夫作　福音館書店

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

おはなし「花さき山」
小沢俊夫再話　福音館書店

絵本「たいせつなこと」
マーガレット・ワイズ・ブラウン作　フレーベル館

ブックトーク　うさぎ

「うさぎとかめ」ワイルドスミス絵　らくだ出版

「イソップ物語」
フランシス・バーンズ・マーフィー編　文渓堂

「まけうさぎ」　斎藤隆介作　新日本出版社

「ウサギのかいかたそだてかた」
小宮輝之作　岩崎書店

「菜の子先生がやってきた！」
富安陽子作　福音館書店

「菜の子先生は大いそがし！」
富安陽子作　福音館書店

「がっこうのうた」　ねじめ正一作　偕成社

資料⑪

図書館での職場体験学習にあたって（生徒向け）

1．公共図書館とは？

すべての人が、自分が自分らしく生きるために、生活を豊かでうるおいのあるものにするために、必要な情報や知識を得る権利を持っています。

公共図書館は、これを保障するために、そこに暮らす人々の希望やその地域の実情にあわせて、必要な資料を集め、整理し、保存し、無料で提供しています。

さらに、過去から受け継いできたさまざまな資料や、新たに加わっていく資料を、次の世代に引き継いでいくことも公共図書館の大切な役割です。

図書館の資料には、図書、雑誌、大活字本、新聞、DVD、ビデオ、CD、カセットテープ、紙芝居などのほか、CD－ROMや電子書籍もあります。そのほか、コンピュータを使っていろいろなことを調べることもできます。

2．公共図書館の仕事－公共図書館が実際にしていること

① 資料の収集

どんな本が出版されているか、どんなことが話題になっているか、これからどんなことが注目されていくかなどを考えて、何をどれだけ集めるかを決めたり、その地域に住む人々にとって特に関係の深いものを注意深く集める。

② 資料の整理

資料を主に種類や内容で分け、それらをまとめて、どんなものがあるかわかるよう目録をつくる。また、いつでもそれらを見つけることができるよう、置き場所を決める。

③ 資料の提供

資料を貸し出したり、閲覧できるようにする。そのとき、利用する人の希望に最も合ったものを提供できるよう、読書相談などに応じる。

生活の中で生まれた疑問など、電話での質問にも図書館資料に基づいて答える。専門的な内容で図書館では答えられない事柄などは、それに適したところを紹介する。

貸し出し中の資料は返ってくるのを待って提供する。また自分の図書館にないものでも、よその図書館から取り寄せたりして希望の資料を提供する。

図書館が身近な場所にないところへは、自動車で本を運んで貸し出したり(「移動図書館」と呼ぶ)、身体の不自由な人には郵便で貸し出すなどの方法をとる。

目の見えない人には、音声や点字などで、また、日本語の分からない人には外国語(その人がわかる言葉)の資料を準備するなどして、だれもが利用できるようにする。

④ 資料の保存

現在の資料が後世までつかえるよう、大切に保管する。虫食いや酸化などの被害から守るための特別な部屋に入れて保存するものもある。そのほか、電子情報化やラミネート加工などの方法を使うこともある。

⑤ その他

今話題になっている本や事柄など、世の中の動きを広く紹介したり、いろいろな講演会や講座などを開いて学習の機会や、楽しみの機会を提供する。

3. 職場体験学習の内容

① 貸出・返却

- 登録は、申込者の名前、住所など、申込書に書かれた内容を証明書により確かめてから図書館カードを発行する。
- 貸出は、図書館カードのバーコード番号をコンピュータで読み取り、次に本など図書館資料のバーコード番号を読み取り、返却期日が印刷されたレシートとともに利用者に手渡す。
- 返却は、図書館資料のバーコード番号をコンピュータで読み取る。そのとき、予約のついている資料とビデオ、DVD、CDは取り込む。それ以外の本や雑誌は引き取るか、決められたワゴン(図書館用語ではブックトラック)に置いていただく。

図書館資料は共有財産であり、共同で使うためのルールを守っていただくことが必要。このため、だれが、いつ、どんな資料を借りたかを記録しておき、返し忘れた人には注意し、本を傷めたり不注意で無くしてしまったときには弁償していただくなどのほか、場合によっては利用を一時停止することもある。

資料が返却されると同時に、貸出の記録は自動的に消える。また、住所、名前、年齢、電話番号、勤務先などの個人情報は、図書館の仕事に関係のないことに絶対に使ってはいけないし、他人に教えてもいけない。

② 資料の書架戻し・書架整頓

・ 書架戻しは、返却された資料を元の位置に戻す作業。

・ 書架整頓は、本棚の乱れを直し、それぞれの本が元の位置にきちんと並んでいる状態にすること。

書架に本がきちんと並んでいて、探すのが楽しくなるような本棚づくりが大切。

たくさんの資料の中から探している資料を間違いなく見つけ出すためには、いつも決められた場所にあることが必要。図書館では、普通、内容が似かよっている資料を同じ場所にまとめている。これにより、目的に最もあったものを比較しながら選ぶことができる。また、本棚を見ているときに偶然見つけた本が、時には興味や関心の新たな発掘につながり、生活の幅を大きく広げることもある。

③ 現物点検リストによる予約図書探し

④ 寄贈本の装備など図書整理業務

⑤ 商用データベースの使い方体験

4. カウンターに立つときには、こんなことに注意して

① 誰が何を借りたか、どんなことを知りたがっていたかを他人に話さない。

どんな本を読むか、どんなことに関心があるかなどは、プライバシーの問題。
プライバシーの保護は大人ばかりでなく、子どもにもあてはまる。

② 常に相手の気持ちを想像しながら接すること。

人は他人に無視されたり、軽く扱われたりした時とても不快に思う。図書館は、資料や情報の提供を通じて、すべての人びとが自分らしく生きることへの応援をするところです。ひとりひとりの存在を大切に思うことがこの仕事の基本です。

OSAKA
MUNICIPAL
LIBRARY

図書館活用の手引き

～子どもたちが調べ学習等で市立図書館を有効に使えるように

平成 26 年（2014 年）5 月

大阪市立中央図書館 利用サービス担当
〒550－0014　大阪市西区北堀江 4-3-2
電話　06-6539-3321　FAX　06-6539-3336
http://www.oml.city.osaka.lg.jp/